



学校だより

2023.8.1 No.138

〒674-8501 明石市魚住町西岡679-3

明石高専

<https://www.akashi.ac.jp>



令和4年度卒業・修了式
(3月22日 西部市民会館にて)



令和5年度入学式
(4月4日 西部市民会館にて)



寮祭
(5月10日 学生寮にて)



文化発表会 合唱団 Fons Musicae
(6月24日 本校体育館にて)

～ 目 次 ～

校長挨拶.....	2	留学生紹介.....	9
新年度を迎えて.....	3	後援会より.....	11
新任教員の挨拶.....	7	学生会より.....	11
退職・異動教員より.....	8	校内短信・行事予定他.....	12
編入学生紹介.....	8		

校長挨拶

スタートアップ教育のための環境整備

校長 土居 信数（どい のぶかず）

写真は在外研究でハワイ大学に滞在していたときのものです。毎日、日の出直後にアラワイ運河沿いのコースをジョギングしていました。せっかくの機会でしたので、夏休みに専攻科生を呼び、教員室がとなりの先生にインターンシップの指導をお願いしました。また、特別にその先生の授業を受けさせてもらえるようにしました。インターンシップに来た学生のうちの一人は、専攻科修了後、アメリカの名門校であるパデュー大学の博士課程に進学しました。そのときの経験が大きかったようです。皆さんにも、短期間でもよいので機会があれば海外に行くことをお勧めします。きっと活躍できる世界を広げてくれると思います。



話は変わります。近年、スタートアップ人材の育成に注目が集まっています。大学や高専から起業する事例は増えて来ていますが、海外に比べるとまだまだ数が足りないようです。こうしたなか、本校は、本年度、高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業に採択されました。今回の学校だよりでは、この事業の概要を紹介することにします。

まず、皆さんが日常的に行き交うキャンパスの中心に創造工房を設置します。学年や専門の異なる学生がアイデアを出し合い、互いに協力し合いながらものづくりに打ち込むことができる共創拠点にしたいと思います。3Dプリンタや電動工具、計測器、デスクトップPCなど、ものづくりに必要な機器、塗装スペースやテストフィールドなどの施設を整備し、皆さんが考えたアイデアをいつでも何度でも形にできるような環境を整えます。また、特別プロジェクト室を整備します。具体的な目標に向かって継続的に活動している団体のうち、特定の活動場所を持たない団体にその部屋の使用を認め、今まで以上に集中して活動できるようにします。

つぎに、スタートアップアカデミーを開校します。ここでは定期的に起業家等による講演会や、地域産業を復活させる事業再生ワークショップ（合宿）、低学年生を対象にした起業に必要なスキルや基礎を学ぶアントレプレナーシップセミナーを開催します。これらの体験を通じて、起業とはどういうことか、その魅力や覚悟、それに備えて身につけておくべきことなどを学びます。また、特別プロジェクト制度を導入し、各種コンテストやプロジェクトを対象に、プロジェクト間の競争力を高める取り組みを行うことで、皆さんの活動を後押しします。

そして、学生支援室（仮称）を設置し、皆さんからの相談を受け付けます。また、スタートアップ基金やネーミングライツパートナー制度などを導入することにより、活動に必要な装置の維持・購入費や材料費、人件費などの一部を賄い、皆さんの負担をできるだけ減らしたいと考えています。

本事業は皆さんのためのものです。皆さんの希望をできる限り取り入れたいと考えています。要望をお聞かせください。

新年度を迎えて

学生の皆さんの活動を応援します

教務主事 梶村 好宏（かじむら よしひろ）

新しい年度が始まり、新しい制度の運用が始まりました。学生の皆さんの活動や活躍を応援するための1つとして、今年度から派遣留学の規程が変わりました。2年生～3年生前期までの海外留学において、留学先で修得した半年または1年間の単位を、本校での授業の単位（留学単位）として一括認定する制度への改定です。これにより、休学することなく留学し、進級することができます。2つ目は、学科を移ることができる転科の制度の改定です。これまでは2年生時の転科は、翌年度に同じ2年生への転科としていましたが、2年生から3年生へ進級した上での転科も可となりました。本人の希望などによっては同じ学年への転科も可能です。これらの制度では、成績の条件等がありますので、詳しくは、本校のMicrosoft365の学生ポータルサイトに掲載している説明資料を参考にしてください。あるいは、担任の先生や学生課に質問、相談してもらってもかまいません。学生の皆さんには、まずは日々の授業をしっかりと受け、時間割上のすべての単位を取得してもらうことが重要ですが、これに加え、様々な環境で様々な活躍をしてもらえるよう学校として環境を整備し、応援したいと考えています。



「感謝の心」とは？

学生主事 穂本 浩美（あきもと ひろみ）

つい最近、『毎日を好転させる感謝の習慣』（スコット・アラン著 ディスカバー・トゥエンティワン）という本を読みました。そのきっかけはある方が感謝の気持ちを大切にしている、と言われていたもので、それが言霊となって私にこの本を引き寄せたのだと思います。私たちはふだんの生活の中で不平不満を言いがちで、それを続けているとその姿勢が定着してしまい厄介な性格の人間になってしまう、と書かれてありました。それとは逆に、日々感謝の心を持ち続けると、次のような恩恵がたくさんもたらされるようです。

- 【恩恵1】持っているものに感謝すれば満足感や充足感がもたらされ強欲を抑えることができる。
- 【恩恵2】自分が恵まれていることに気づくと、相手に心を開き手を差し伸べる慈悲深い人間になれる。
- 【恩恵3】手を差し伸べた相手の顔に笑みが浮かぶのを見ると自分の人間性に自信を持てるようになる。
- 【恩恵4】自分に自信が持てるとポジティブになれる。感謝の心と否定的な感情は同時に持てないので、感謝の心を育めば喜びや希望といったポジティブな感情で満たされ、ネガティブモードに陥らなくてすむ。

置かれている状況に感謝し人に何かを与えることが出来れば、それは不安や苦悩、恐れや嫉妬を遠ざけるという形で私たちに恩恵がもたらされるのです。学校が感謝の心と恩恵で満たされた素晴らしい場所になるのを祈りながら、自戒の念をこめてこの原稿を書いています。最後まで読んでくださり感謝します！

英気満つ解夏の学寮かゞやきて

寮務主事 荒川 裕紀（あらかわ ひろのり）

4月、新たに50名を潮寮の寮生に迎えました。現在の総数、237名。北海道から沖縄、そして世界中から学生の集う、グローバル高専の名に相応しい学寮へと発展してきています。皆さんには、多彩な人たちの織りなす「小さな地球」での集団生活を通じての共生を日々実践して欲しいと願っています。

コロナ禍前の学寮の生活スタイルを取り戻すにあたって、今後、居室の年2回程度の入替えを実施予定です。居住空間を入れ替えることで、更なる社交性の涵養に繋げて欲しいと願っています。このグローバルな空間に、多くの学生を受け入れたいのですが、需要が収容人数を上回っている現状があります。そのため、来年度以降、寮生活が3年以上を迎える数名の学生に関しては、通学時間、通学経費、経済状況等を考慮した上で、通学をお願いすることとなりました。

寮生活を必要とする学生のため、そして本校の教育基盤を支えるため、何卒ご理解とご協力をいただきたいと思います。今後も学寮の充実に力を注いでいきます。どうかよろしく願いいたします。



新年度を迎えて

What is your superpower?

専攻科長 中西 寛（なかにし ひろし）

DC映画『バットマン vs スーパーマン』の続編『ジャスティス・リーグ』には、ブルース・ウェイン（バットマン）が、バリー・アレン（フラッシュ）をスーパーヒーローチームにスカウトした車内で、バリーがブルースにまじめな顔つきで、「あなたのスーパーな能力って何？（吹き替え版）」と尋ねる場面があります。スーパーマンなら、強靱な体や飛行能力、フラッシュなら超高速移動のスーパーパワーを持っているのに対し、一体あなたは？このセリフ自体は、なにも超能力が存在する架空世界の質問ではなく、ごく普通の面接でも使われるようです。「他者に無いあなたの強みは何ですか？」の意味でしょうか。専攻科では、既存の技術を学ぶだけでなく独自の研究を各自が行うことを重視しています。研究ですから未踏の（他の誰も確立していない）技術の開発に挑みます。その中で専門分野のスキルを培いつつ、かつ柔軟な対応力を享受されることを期待しています。専攻科2年間で、あなた独自の誇れるSuperpowerを獲得してください。最後に専門〇〇にならないように、もう一つ映画俳優・武道家ブルース・リー（李 小龍）のことば“Be water, my friend!”を挙げておきます。紙面が足りませんので、意味は自分で調べてみてください。なお、冒頭場面でのブルースの答えは“スーパーリッチ。（吹き替え版）”でした。

*原語版では、“What are your superpowers, again?”, “I’m rich.”

情報メディアセンターより

情報メディアセンター長 平石 年弘（ひらいし としひろ）

2022年度に情報メディアセンターの改修工事が終わり、書庫の一部が写真の演習室に生まれ変わりました。また、BYOD(Bring Your Own Device)に対応できるように校舎内のWifiポイントの能力を強化しました。校舎内で何カ所か電波が届きにくいところは、予算の許す限り速やかにWifiポイントを増設していく予定です。同時にサイバーセキュリティ強化の取組も進めています。

情報メディアセンターには図書館も備えています。日常生活でスクリーンを眺めている時間が長くなっていると思う学生の皆さんには、スクリーンから少し離れて紙の本を読むことをお勧めします。スクリーンに比べて目が疲れず、纏まった長い文章を読むことで思考、熟考する機会となると思います。私自身も、毎日少しでも紙の本を読むように心がけています。



明石高専の魅力を社会に広める

テクノセンター長 田中 誠一（たなか せいいち）

テクノセンターでは、地元企業との連携を図り地域産業の振興に寄与する産学連携活動、そして地域の行政機関や団体と連携して問題を解決するまたは市民に貢献する社会貢献活動を学内組織や各先生方と協力しながら進めていきます。今年度はコロナ禍の影響で縮小していた産学官連携の場を再び拡充させ、小中学生対象の公開講座・出前授業や、休止していたあかし市民図書館とのコラボ企画である「明石高専テクノカフェ」の充実を図ります。高専における産学官連携は、より地元志向であり、また在学生・卒業生との連携が重視されると考えています。特に明石高専は60年以上の歴史があり、現在まで多くの学生が様々なプロジェクトを自由に行ってきました。最近のCo+workにおける学生の様子も思えば、地域産業により貢献できる素地は十分にあり、豊富な卒業生がそれをサポートする形も見えてきます。このような連携も推進していく予定です。当センターは教員・学生の活動と地域や卒業生の相互協力の関係構築を通して、明石高専の持つ魅力を社会に広め、地元で愛される明石高専を目指していきます。



ご存じですか？

この建物の左半分がテクノセンター棟です。

新年度を迎えて

コンフォートゾーンからラーニングゾーンへ

グローバルエデュケーションセンター長 藤原 誠之（ふじわら せいじ）

人の成長において置かれた状態をコンフォートゾーン、ラーニングゾーン、パニックゾーンに分けてとらえる考え方があります。コンフォートゾーンは状況や環境に不安を感じない心地良い日常空間です。その外側にラーニングゾーンがあり、少し自分の現在のスキル以上の挑戦をするときや、未知の体験をするときに不安がある状態を指します。人はこの領域で最も成長すると言われています。更にその外側にパニックゾーンがあります。パニックゾーンでは自分の能力をはるかに超えたものが求められる領域で、学びに適していないと言われています。海外留学はこのラーニングゾーンに身を置く最適な状況と言われています。まずは学内での国際交流によって模擬的な海外留学を経験し、次に一步踏み出して海外研修に飛び出してみましょう。グローバルエデュケーションセンターでは学生の成長につながる様々な国際交流プログラムを準備しています。



ボロブドゥール（インドネシア）

授業はだれのもの？

アクティブラーニングセンター長 本塚 智貴（もとづか ともき）

AL(アクティブラーニング)は、受動的な情報伝達や単純な知識の受け入れに比べ、学習者が積極的に関与し、自ら考え、問題解決や意味の理解を行う学習方法と言われています。その効果の1つとしては理解の深化があります。学習者が積極的に関与することにより、単に情報を受け入れるだけでなく、理解を深めることができます。議論やディスカッションを通じて、異なる視点や意見を聞くことで、より多角的な理解が促進されます。

しかし、学習者自身が積極的に授業に関与するためには本人のやる気も重要になってきます。では、やる気はどこからやってくるのでしょうか？某CMのようにわかりやすい「やる気スイッチ」は残念ながらありません。

本校の特色であるPBL(Project Based Learning)型授業のCo*workは、教員と学生が共につくりあげる授業を目指しています。Co*workのガイダンスでもお伝えしましたが、批判をすることは簡単です。しかし、批判を繰り返すことで物事がよくなるわけではありません。他人事から自分ごととして授業をとらえ、誰かに与えられるのを待つのではなく、自らがやる気をだせる楽しい場所・時間をつくりだしてください。

みんなが自分ごととして楽しんで学んでいる姿を多くの人に見てもらえるように、ALセンターではみなさんの活動や取り組み、挑戦を支援していきます。

男女共同参画推進室より

男女共同参画推進室長 武田 字浦（たけだ なほ）

今年度、新たに男女共同参画推進室が発足しました。これまで、組織はなくとも男女共同参画の取り組みはされておりましたが、改めて、組織的に展開することとなりました。初年度である今年は、「全ての人がキャリアアップし続けられる人生を歩めるように」を理念として、学生向け、教職員向け、そして未来の学生向けの三方向に対する取組を進めて参ります。何をもって「キャリアアップ」というか。これは、人・立場・環境などによって変わると思います。この多様性も含めて、各人が自分自身の人生を歩めるよう、知っていることが強みとなるように情報共有・情報提供の場を企画していく予定です。

私自身、就職活動をした際に、学生時代には男女机を並べて一緒に学んでいたのに、社会に出ると男女同じ事ができるわけではないということに衝撃を受けました。近年では、政府主導の男女共同参画推進が進み、工学系の女子学生が就職に不利になることはなくなってきましたが、部署単位でみると女子の採用は初めてという会社はまだあるようです。

本校では、女子学生の割合が本科で26%、専攻科で15%と増加傾向にあり、女性教員の割合も20%近くになってきました。これまで実施されてきた女子学生に向けたセミナーやフォーラムに加え、性別に関わらず「男女共同参画」を念頭においたロールモデルを全学で共有していきたいと思っています。

新年度を迎えて

気軽にどうぞ

学生支援オフィス長 濱田 幸弘（はまだ ゆきひろ）
学生相談室長 松塚 直樹（まつづか なおき）

令和5年度、学生相談室は基本的に月曜・水曜・木曜・金曜に開室します。時間は15時から18時です。スクールカウンセラーとの面談は予約が優先ですが、学生相談室のドアに「どうぞお入りください」とある場合は予約なしで面談することができます。

面談を予約するときは hoken@akashi.ac.jp 宛にメールを送ってください。保健室の看護師が面談のスケジュールを組んでくれます。

学生相談室は下の画像のような雰囲気です。

スクールカウンセラーは4人いて、それぞれ担当する曜日が固定されています。定期的にスクールカウンセラーと面談することが可能です。

学生相談室は授業期間だけでなく夏休みも春休みも開室します。ただし開室日は毎週とは限りませんので、本校ホームページで確認してください。

学校に行くのが何となく億劫だなと感じたり、理由が分からないけれどもやもやしたりすることがあると思います。そのようなときカウンセラーと話しをすると、その原因に気づくかもしれません。どうぞ気軽に学生相談室を利用してください。

保健室では、昼休みに保健室（別室）をフリースペースとして学生に開放しています。保健室（別室）は保健室の一部をパーティションで区切ったエリアで、下の画像のような雰囲気です。



学生相談室

友達とランチを食べたり、お茶を飲んだりしながらおしゃべりするのに利用してください。また、保健室（別室）にある本を借し出すこともできます。

現在は利用者が少ないので、予約なしで保健室（別室）を利用できるようにしています。利用者が増えてきたら、予約して利用してもらおうと考えています。

最後になりましたが、本校は非常勤のキャリア支援員を雇用する予定です。これまで、5年生の進学・就職活動を学級担任と就職担当教員が中心となって支援してきました。支援内容は志望校の選定、志望理由書の添削、就職応募企業・団体の選定、エントリーシートの添削、推薦書の作成、面接の練習などです。キャリア支援員には主として志望理由書・エントリーシートの添削と面接の練習を手伝ってもらおうと考えています。本校のキャリア支援を手厚くして、学生の夢が叶うことを期待しています。



保健室（別室）

新任教員の挨拶

学び考え続ける浦島太郎でありたい

教養学群 中村 元（なかむら げん）

4月より再雇用の嘱託教員として勤務しています、数学 中村 元と申します。30数年間勤めた松江高専を3月で定年退職しまして、故郷の兵庫県に戻って来ました。通勤電車で神戸市や西宮市などの車窓を見ると大変に懐かしいです。明石市に初めて立ち寄ったのは高等学校1年生の夏に陸上部の県予選が明石城近くの陸上競技場で行われた時でした。周辺の景色は昔も今も大好きです。小学生の時の思い出で、発明王エジソンの伝記を読んで失敗を繰り返しながら成功していく姿に感動しました。私の場合、子供なりに電気で動くモーターに興味があり、永久磁石だけで動くモーター（つまり永久機関）を作ることを夢見ていました。大発明をして楽をして暮らそうという甘すぎる夢は、やがて永久機関は作れないことを知って終わりましたが、自分なりに色々な本を読む機会が増えて良かったと思います。その後、情熱的な先生方に出会い数学に興味を覚えて今に至っています。通常、数学の定理は発明より発見と呼ばれますが、本校の授業にも出てくる「オイラーの公式」などはむしろ発明で、自由に豊かな想像から得られた奥が深いものと思います。今後、自由に大いに学んで（そもそも今までが勉強不足）いくつもりです。本校には通常の授業以外でも大変ユニークな取り組みがあることに感心させられます。私も学生達の将来の糧に少しでもなれるよう努力していく所存です。

カルチャーショックは成長の力

電気情報工学科 出口 幹雄（でぐち みきお）

愛媛県にある新居浜高専を定年退職になり、4月から再雇用で本校に着任しました。元々出身は関西で、新居浜高専に赴任する前、三菱電機(株)に約10年間勤めていた時期は西宮に住んでいました。当時の新居浜高専の校長が大学時代の指導教授だった縁で、請われて新居浜高専に赴任し、以来28年余りを新居浜で過ごしました。新居浜に引っ越した当初は、“田舎”に来た、という大きなショックを受けました。陸と海の関係が神戸地区とは南北が逆というのにも非常に違和感がありました。冬になると目の前の山にすぐ雪が積もるのも驚きでした。しかし、今はその逆のカルチャーショックを感じています。JRの線路は単線、電車は1時間に1本という世界が当たり前になってしまうと、出張で東京へ出た時くらいにしか耳にしなかった駅の発車の合図の音楽が毎日聞こえ、新幹線が目の前を頻繁に通る過ぎるのも、とっても新鮮です。地方々々で文化が異なることは、テレビの“ケンミンショー”なんかでも他人事として知ることはできますが、違いを実際に自分の肌で感じるということは、新しい視点を発見して成長できる原動力になるのでは、とつくづく感じています。ところで、数年前から共同研究をしている会社が発行している技術広報誌に、昨年、寄稿を依頼され、執筆した記事が掲載されてWeb上でも閲覧できるようになっています。“カヤバ技報”で検索してみてください。2023年4月号の論説です。ご一読いただけたら幸いです。

初めまして

GHEZELLOO YEGANE（ゲゼール イェガネ）

Hello everyone. My name is Yegane Ghezelloo, you can call me ゲゼール先生. I started working in Akashi KOSEN this April and right from the beginning I felt welcomed by everyone. I work as an assistant professor in architecture and civil departments, and I am a member of Global Education Center as well. I am originally from Tehran City in Iran and finished my undergraduate in architecture and master's in urban design there. I worked as an architect in Iran for 6 years and designed and built different buildings. I studied architecture at Kobe University as a Ph.D. student and a post-doc researcher in the field of post-disaster recovery. I am interested in research and design of public spaces and community building. Other than that, I enjoy learning Japanese, playing board games, and traveling. If you want to talk to me about architecture, research, global studies, or anything else please come by my office. I am looking forward to meeting with all of you!

退職・異動教員より

攻める気持ちをもって成長し続けてください

上 泰（かみ やすし）

2023年3月で明石高専を退職し、4月から広島工業大学に異動しました。3月に入ってから採用が決まったため、在校生の皆様にご挨拶できず、失礼いたしました。振り返ると、在職中は、他大学・他高専の方々や地域の方々とながら貴重な経験をさせていただき、着任当初と比べると、視野も広がり、考え方も変わったように思います。中でも、皆さんと取り組んだCo+workや10年ほど関わった高専機構の共同教育プロジェクトでは、「チャレンジすること」の重要性を実感させられました。そして、定年まであと半分だなあ、と思っていた私も、「研究者は攻めないとダメでしょ!」という知り合いの先生の言葉に背中を押され、大学で自分の力を試すチャレンジを始めたところです。明石高専には、自身の成長につながる機会があちこちにあると思います。これを逃すことなく、攻めの気持ちで自ら飛び込み、自分を高め続けてください。最後になりましたが、18年間お世話になりました教職員の皆様には感謝申し上げます。

成長の根源にあったもの

荘所 直哉（しょうじょ なおや）

明石高専には学生時代も含めると人生の半分程度、お世話になったこととなります。学生・教員時代ともに教養・専門分野だけでなく、人との関わり方や振る舞いも含めて人としてのすべての事柄を学び成長できました。教員として実験実習、研究業務や課外活動を実施する際には、多くの先生方だけでなく、技術職員や事務職員の皆さんの綿密でかつ多大なる下支えという名の見えにくいやさしさがある上で成立していることを実感しました。この経験は自身の成長に大きな影響を与えています。学生の皆さんはそのやさしさを十分に享受して充実した高専生活を過ごしてください。高専から離れたときにきっと成長を実感できるでしょう。そんな私自身も県内の大学に赴任したので、今後も互いに実りのある関係であり続けたいと願っています。私の片思いにならないように自身もチャレンジして成長します。

やさしさだけでは強くなれないかもしれませんが、しなやかに成長してすべてにやさしくありたいものです。

ともしびの明石大門

江口 忠臣（えぐち ただおみ）

4月に高知高専へ異動しました。30余年の明石高専での活動に感謝申し上げます。学生、教職員、保護者、卒業生、地域の皆様から活力を得て、各分野で僅かばかりのことはできたのではないかと思います。在籍中の信条は「礼節を以って全方位業務」でした。ある方面からはバレーボールばかりをやっているように見えたかもしれません。学生には同学齢の強豪と呼ばれるチーム以上の特徴ある活動が提供できるよう心掛けてきました。それは業務の一方であり、教育、研究、厚生補導、地域貢献、国際交流すべてに通じていました。対極にあると思われるがちな研究においても専攻科生、学科生と産学連携を中心に成果を収めることができました。担当する研究室から多くの専攻科生が修了したことも大きな誇りになっています。明石高専は構成する方にとって全方位で活動できる良い環境です。ともしびの明石大門を眺めながら高知へ移り、礼節を以って新たな業務に取り掛かっています。ありがとうございました。

編入学生紹介

2年間よろしくお願いします

電気情報工学科 4年 桐月 悠真（きりづき ゆうま）

みなさん、こんにちは。僕は、兵庫県のシンボル“姫路城”の近くにある姫路工業高校からきました。僕は、受験に合格してから明石高専に実際に通うまでとても不安でした。特に編入生という特殊な境遇なので、すでに形成されている輪の中に入って一緒に仲良くできるのかなどが不安でした。しかし、いざ教室に入ってみると、クラスの子が温かく迎え入れてくれ、すぐにその中に打ち解けることができました。今では、みんなと一緒にご飯を食べたり、夜に電話をつないでゲームをしたりしています。この学校に編入してきて、授業がとても難しく、まだ勉強していないところもあるのでとても苦労しています。しかし、クラスの子にわからないところを聞いたら優しく丁寧に教えてくれるので、本当に有難いです。これから、高専祭など様々なイベントもあるのでとても楽しみです。2年という短い高専生活ですが、クラスメイトともしっかり仲良くなり、自分自身も沢山の事に挑戦していきたいと思っています。

これから2年間よろしくお願いします。

留学生紹介

自己紹介

機械工学科 1年2組 KITTIKAWIN BUMRUNGKEEREE (ウィン)

はじめまして皆さん、僕はウィンです。タイからきました。機械工学科の学生です。僕は子供の時から、ずっと日本のアニメが大好きです。アニメから、たくさん日本の文化が見えました。だから、いつも日本に来たかったです。中学の時、日本留学の試験を受ける機会がありました。だから、僕はそのチャンスを掴むために一生懸命努力しました。

日本に来るときは、たくさんわからないことがありました。僕の見たアニメと同じだと思いました。明石高専で勉強することはとても嬉しいです。いま、日本語はまだむずかしいですから、宿題とか練習とかいっぱい問題があります。でも、明石高専の皆さんはいつも僕を助けてくれます。先生とか先輩とか友達とかすごく優しいです。日本に留学したことはとても正しい決断だったと思います。これで以上です。よろしくお願いします。



自己紹介

機械工学科 1年2組 PAWANRATH JUNGSAKSRI (ポーファーイ)

皆さんはじめまして、私はパワンラット ジュンサクシーです。ニックネームはポーファーイです。私はタイのチョンブリから来ました。私は1年2組です。機械工学科で勉強しています。私の趣味は絵を描くことと小説を読むことです。私は日本語が好きですから、日本に来たいと思っていました。私は日本語がとても美しい言語だと思いますから、日本語を勉強したいと思っていました。私は小説だけが好きなわけではありません、文学の本も好きです。今、私はタイ語と英語の本だけしか読めませんから、日本語の本も読めるようになりたいです。だから日本語をたくさん勉強しています。日本に来てとても幸せです。みなさんもとても親切です。みなさん、これからよろしくお願いします。



自己紹介

機械工学科 3年 DYLAN WONG YUN XIAN (ディラン)

はじめまして、ディランです。マレーシア出身で、現在日本に住んでいます。私の趣味はスポーツと旅行をすることです。スポーツは、友達と一緒にいろいろなスポーツをするのが好きです。旅行については、新しい文化や自然を体験することに魅力を感じるので、アジアのいくつかの地域を旅行したことがあります。私は社交的で、新しい人に会うのが好きな方だと思います。留学生として、日本の文化や言葉を学ぶと同時に、日本人の友達をたくさん作りたいと思っています。日本での生活に慣れるために日本語を勉強していますが、まだまだ未熟です。将来は、日本語能力試験を受けて、日本語を上達させたいと思います。日本での勉強や経験を大切にして、これからも自分を成長させていきたいと思っています。また、たくさんの友人を作って、一緒に楽しい時間を過ごしたいと思っています。一緒に働けることを楽しみにしています。



頑張りたいこと

電気情報工学科 3年 BATBILGUUN KHONGOR (ホンゴル)

皆さんこんにちは。私はモンゴルからの留学生のホンゴルです。今は明石高専の電気情報工学科で勉強しています。

日本は、その学術的な優れた環境、文化の豊かさ、そして技術の進歩により、毎年数千人の留学生を魅了しています。留学生としての旅立ちは、刺激的で変革的な経験です。だから私は日本に留学することに決めました。

私は明石高専で専門分野の勉強を頑張りたいと思っています。理由は目指している将来を作るためです。バレーボールが好きなのでバレーボール部に入りました。部活では毎日大変な練習をして難しいですが、それ以上に面白いです。

日本に来てもう1年ですが、まだまだ出来ないことがあると思います。これからよろしくお願いします。



留学生紹介

日本での初めての経験

電気情報工学科 3年 MUHAMMAD NAFIZ NAZHAN BIN NOORAN (ナフィズ)

はじめまして、マレーシアからのナフィズです。電気情報工学科の3年生です。日本には約5年間留学する予定ですが、これを書いている時点で、日本に来てから約2ヶ月が経ちました。そこで、この最初の2ヶ月間の経験をシェアしたいと思います。

初めて来た時、ここの桜の木は満開でとてもきれいでした。授業が始まるまで数日あったので、マレーシアの先輩たちといろいろな場所に出かけました。天気がよく涼しかったので、どんなに長く歩いても、気持ちがよかったです。マレーシアでは、一年中暑いか雨が降っているので、外に出るのがちょっと嫌になります。

その後、授業が始まりました。正直、私はまだ日本語が下手なので、すべての科目を日本語で学ぶことはかなり大変です。英語の授業も、結局は日本語の授業になります。また、日本語で会話することにあまり自信がないので、これもかなり大変です（特に関西弁で）。幸い、クラスの人たちはとてもいい人たちばかりで、たくさん助けてもらいました。

この2ヶ月でいろいろなことがありましたが、これからもっといろいろなことがあると思います。いずれマレーシアに帰る前に、ここで新しい経験をするを楽しみにしています（あるいは、誰かと結婚してここで暮らし続けるかもしれません(笑)）。最後に、皆さんと仲良くやっていきたいと思いますので、よろしくお願いします！



素晴らしい日本

電気情報工学科 3年 WACHIRAWIT KRASAETANONT (マージン)

日本といえば、特に私と同じ世代の人たちはアニメを思い浮かべるでしょう。アニメを通して日本の文化に触れることで、私は日本のことが大好きになりました。

こんにちは皆さん、タイから来ました。マージンです。私は好奇心旺盛で、科学や数学が大好きです。日本の教育を受けたいと思い、日本への留学を決めました。私は優しさを信じていて、世界中に優しさを広めたいと思っています。エンジニアとして、人々を笑顔にできるような新しい技術を作り上げるのが夢です。

ここ明石高専でたくさんの友達を作り、一つずつ学んでいくことで夢へと近づいていきたいと思っています。



明石高専での授業初日の感想

建築学科 3年 LY TAI Y (タイイー)

皆さん、こんにちは。カンボジアから来たタイイーと申します。今明石高専の3年生の建築学科で勉強しています。明石高専の初日、クラスで誰も知り合いがおらず、自分の日本語力もまだ充分ではなかったため、少し寂しい気持ちになりました。日本の学生と友達を作るのは難しかったです。しかし、勉強を進めるうちに、次第に慣れていきました。クラスメートは皆フレンドリーで、先生方もとても親切で助けてくれました。困っている時にはいつも手を差し伸べてくれました。日本語は難しいですが、日本語で建築を学ぶことは予想以上に大変でした。留学生として、授業の前にできるだけ予習し、先生の説明についていけるように頑張るしかありませんでした。クラスメートと仲良くなると、授業がより興味深く感じられるようになりました。

授業以外でも、学校の活動で他の留学生や日本人学生と楽しい時間を過ごしました。友達を作るチャンスがたくさんあり、日本の文化について学ぶことができました。今では日本の文化にますます興味を持ち、もっと日本の場所を探索したいという好奇心が湧いてきています。日本に来た最初の日、食べ物にはなかなか慣れませんでした。日本の食べ物の味はカンボジアの食べ物とは大きく異なるからです。カンボジアでは辛い食べ物が好まれますが、日本人は辛い食べ物が苦手です。しかし、日本で1年過ごした後、だんだんと慣れてきました。今では日本の食べ物も美味しいと思います。これからもお世話になります。よろしくお願いします。

後援会より

変わったこと、変わらないこと

後援会会長 藤田 講平（ふじた こうへい）

今年度、後援会の会長をさせていただいております、藤田と申します。学生、保護者の方々、先生、職員の方々よろしくお願ひいたします。私自身も過去明石高専に在籍しており、私と息子で通算10年、お世話になっております。

卒業生、保護者の立場で明石高専を見させていただくと、今と私の頃とでは変わったものも多いですし、変わっていないことも多いです。私が学生時代参加したロボコン最初期のつたないロボットなどと比べ、今の物はプログラムなどを駆使し、またアイデアもはるかに洗練されています。学生の方の学ぶ授業も時代に合う形で変わっていていると感じました。

変わらないものとしては何かにチャレンジしてみる時間や場がある、またそれを良いものとする風土があることと思っています。何かにチャレンジすることで失敗するかもしれないし、うまくいくかもしれない。そのような経験や機会の多い高専生はほかの大学生とはいい意味で違う学びをしてくれていると社会や会社で思われていますし、現実そのような後輩の方も多いと思っています。

私自身もロボコンは近畿予選落ちでしたがロボットを作る時間やアイデアを出し合う経験が、今の会社員生活につながっています。

さて後援会では例年通り学生の皆さんの支援を行っていきます。課外活動では、部活をはじめ、ロボコン、プロコン、デザコンなどの各種コンテスト、学生プロジェクトなどの支援、勉強に関することとしては、外部試験への支援、学会発表への支援に加え、スキルアップのためにスキルアップ大作戦といった活動を行っています。ただいくつかの支援は皆さんがチャレンジして、さらに後援会に申し込んでもらわないと支援することのできないものもございます。ぜひ手をあげる、やってみるといった誰かに言われてやるのではなく、自分で動くことを学生生活の中でやってみてください、すでに何かをやっている方はぜひもっとやってみてください。後援会はそのような学生のサポート役になれたいと思っています。

最後になりますが、保護者の皆様、先生、職員の方々、今後とも後援会へのご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

学生会より

今年度の学生会活動について

都市システム工学科 3年 倉松 央（くらまつ ひろ）

皆さん、こんにちは。今年度の学生会長を務めています、3年都市システム工学科の倉松です。いつも学生会の活動にご協力いただきありがとうございます。

令和5年度がスタートして早数ヶ月、いよいよ新型コロナウイルスも終息に近づき、部活動をはじめとする課外活動など、様々なイベントがコロナ禍前の形で復活しつつあります。

昨年度学生会執行部は、皆さんの協力のもと、本校創立60周年記念イベント、並びに校内に新しく学生の居場所となる空間を制作する“みんなのキャンパスプロジェクト”という2つの非常に大きなプロジェクトを無事成功させることができました。また、文化発表会やスポーツ大会などの定例行事に関しましても、コロナ禍での制約はありながらも無事終えることができ、ご協力いただいた皆さんには感謝の気持ちしかありません。

そして今年度4月に新たに9人の新メンバーを迎え入れ、新体制のもと活動をスタートしています。今年度は、文化発表会やスポーツ大会などの例年の活動に加えて、高専祭での学生会執行部考案のイベントの開催等を予定しています。学生会役員だけでなく、学生の皆さんも巻き込んだ活動にしていきたいと考えていますので、多くの方に参加していただけると嬉しいです。また今夏には、コロナ禍以降初の対面での開催となる近畿地区夏季交流会の開催を予定しており、本校学生会執行部が主催校として運営を行います。この活動を機に、コロナ禍によって遮られていた対面での活動が徐々に緩和され、他高専間の交流がより活発になれば良いと考えております。

最後になりましたが、私たち学生会執行部は学生の皆さんがより楽しく不安の少ない学校生活を送れるよう、サポートしていきたいと思ひます。そのためにも、何か意見や要望などがありましたら、どんな些細なことでも結構ですので学生会役員に相談していただけると助かります。今年度も引き続き、学生会執行部をよろしくお願いいたします。

校内短信・行事予定他

●校内短信

●第60回近畿地区高等専門学校体育大会

日程	行事	種目	期日	会場
4/4(火)	入学式・入寮式	陸上競技	6/24(土)	三木総合防災公園陸上競技場
4/5(水)	始業式 専攻科オリエンテーション	バスケットボール	7/16(日)～7/17(月・祝)	マツヤマSSKアリーナ
4/6(木)	前期授業開始	バレーボール	7/1(土)～7/2(日)	御坊市立体育館
4/7(金)	新入寮生歓迎会	ソフトテニス	7/8(土)～7/9(日)	大和郡山市総合公園施設テニスコート
4/13(木)	健康診断	卓球	6/24(土)～6/25(日)	舞鶴文化公園体育館
4/19(水)	学寮防災訓練	柔道	7/14(金)～7/15(土)	武道交流館いきいき
4/22(土)	後援会総会・役員会	剣道	7/1(土)～7/2(日)	舞鶴東体育館
4/26(水)	TOEIC IPテスト	硬式野球	7/15(土)～7/16(日)	神戸高専グラウンド
5/10(水)	寮祭	サッカー	7/1(土)～7/3(月)	兵庫県フットボールセンター明石グラウンド
6/13(火)	専攻科入試 (推薦)	ラグビーフットボール	第1日目:11/4(土) 第2日目:11/11(土)	神戸高専グラウンド 神戸総合運動公園補助競技場
6/24(土)	文化発表会	ハンドボール	7/8(土)～7/9(日)	東和薬品RACTABドーム(サブアリーナ)
6/24(土)～7/20(木)	保護者懇談会	テニス	7/2(日)～7/3(月)	ミズノスポーツプラザ舞洲
6月～7月	近畿地区高専体育大会	バドミントン	7/1(土)～7/2(日)	和歌山県立体育館
7/19(水)	TOEIC IPテスト (5年生全員)	水泳	7/17(月・祝)	奈良教育大学プール
7/31(月)～8/7(月)	前期期末試験			

●行事予定

●部活動指導教員

日程	行事	局	部・同好会	クラブ名	指導教員名
8/8(火)～8/10(木)	学力補充期間	文化局	部	吹奏楽部	○平野 大向 高田
8/11(金・祝)～8/12(土)	オープンキャンパス			音楽部	○角野 藤原
8/13(日)～9/30(土)	夏季休業			茶道部	○東野 北川
9/25(月)	専攻科入試 (学力)			合唱団 Fons Musicae	○土田 久保田 黒杭
10/2(月)	後期授業開始			ロボット工学研究部	○森下 関森 野村
10/8(日)	近畿地区高専ロボットコンテスト 於：神戸市立中央体育館			情報工学研究部	○野村 濱田
10/14(土)～10/15(日)	全国高専プログラミングコンテスト 於：サンドーム福井			視覚メディア研究部	○小笠原
10/23(月)～10/27(金)	5年生見学旅行			Web製作研究部	○土田 梶村
10/24(火)～10/25(水)	研修日			宇宙工学研究部	○梶村
10/24(火)～10/25(水)	研修日			エコランプロジェクト	○田中 大森
11/3(金・祝)～11/4(土)	高専祭		同好会	棋道同好会	○本塚 松塚
11/6(月)	高専祭代休			ものづくり研究会	○武田
11/7(火)	全校清掃日			E S S	○ハーバート 穂本
11/11(土)～11/12(日)	全国高専デザインコンペティション 於：舞鶴市総合文化会館 舞鶴赤れんがパーク			数学研究会	○高田
11/13(水)～11/15(金)	寮生体育祭			D-PRO135°	○本塚 大塚 松宮
11/13(水)～11/15(金)	寮生体育祭			写真同好会	○鍋島 生田
11/21(火)	避難訓練	体育局	部	水泳部	○松塚 面田 濱田
11/21(火)～11/22(水)	スポーツ大会			剣道部	○丹下 松宮
11/26(日)	全国高専ロボットコンテスト 於：両国国技館			柔道部	○小林 平野 細川
12/13(水)	寮クリスマス会			空手道部	○東野 久保田
12/24(日)～1/7(日)	冬季休業			野球部	○後藤 荒川 藤原
1/20(土)	推薦入試			陸上競技部	○石松 大向 梶村 田中
1/27(土)～1/28(日)	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト 於：国立オリンピック記念青少年総合センター			男子バレーボール部	○井上(一) 角野 森下 黒杭
2/11(日)	学力入試 (本試験)			女子バレーボール部	○三好
2/14(水)	高専祭代休			ハンドボール部	○水島 穂本 渡部
2/14(水)	専攻科特別研究審査発表会			男子バスケットボール部	○ハーバート 生田 大城 関森 土田
2/15(木)～2/22(木)	後期期末試験			女子バスケットボール部	○北川 中西
2/22(木)	終業式			卓球部	○本塚 小笠原 史 周山
2/25(日)	学力入試 (追試験)			クライミング部	○平石 工藤
3/20(水・祝)	卒業式・修了式			テニス部	○武内 中川 長尾
				バドミントン部	○武田 高田 野村 廣田
				サッカー部	○加藤 大塚 國峰 鍋島
				ソフトテニス部	○井上(英) 大森 ゲゼール 櫻井
			同好会	フットサル同好会	○工藤